

# 原告団臨時総会に参加して

## 寄せられた原告団総会の感想



### 遺族 溝口生松

昭和四十八年十一月三日の結成以来のことです。三池大爆発裁判第四回公判も終わった段階で、やっと総会でした。

会場設備をする中で「集まるだるうか」と案じていたら、皆は雨の中を続々と集まってきました。さすがは原告団だ、とうれしきまで胸がいっぱいになりました。

赤ん坊を抱いたCO患者やCO家族。それに熊本から、直方からかけつけた遺族たち。今日はいじめて、「三池大爆発原告団」のタスキをかけた人もいたが、会場いっぱい埋められた原告団員の顔が輝いて見えました。

この日の総会は、討議のあと高

## 緊張みなぎる原告団臨時総会

(4)三井鉱山は、重要災害を完全に防止する。万一死したその他の重要災害を発生させた場合は、前項の補償を実施せよ。

### CO家族

#### 石原 政子

昨年五月十一日に提訴してから一年を迎えた五月二十八日、三池大爆発裁判原告団の臨時総会を開きました。全員の意識統一をためてきたこの総会、全員の結集しようと毎年退職者をはじめ遺族・患者とその家族に呼びかけましたところ、昭和四十二年九月二十八日の三川鉱坑内火災によるCO患者も多数参加されました。

### 遺族 永江美由紀

場一致で、次の四項目の要求を確認しました。

- (1)三井鉱山は、災害の原因と責任を明らかにせよ。
- (2)三井鉱山は、遺族・CO被災者の方が見えられ、十時の定期ごころには三百五十名ほどの原告団員が、一人ひとり「三池大爆発裁判原告団」と、白地に黒く染め抜いたタスキ(皆で五百円ずつ)

豆腐一五十円。天ぷら一枚三十円。にんじん一本四十円。キャベツ一個二百円。と、千円一枚もって夕食の買い物をいくと恥をかき、足りないのは、ハラハラの九千円の年金が、やっと三万円

## 短歌

遺族 川島 早苗

災害にあうとも知らずいそいそと  
生きて還らぬ今日の悲しき

(筆者は、熊本県玉名郡長洲町下本町に居住)

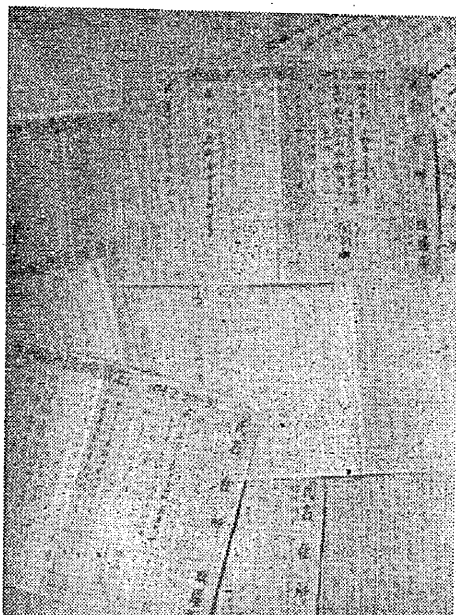
意識統一のため、荒尾公会堂で臨時の原告団総会が開かれた。

原告団のエネルギーを示してくれ、南は、沖縄県の与論島の沖さきまで全国に散在している、原告一人ひとりの力を結集することが急務だ。皆が集まってくれ、ついでに来た本多先生の、裁判員の中にも、「皆が集まってくれ、争いの経過についての話を耳を傾ける活動が強化する必要がある」とあった。だが当日は雨にもかかわらず、三百四十名の遺族・COを深めていた。

加古川・高砂地区CO守る会(代表竹田美智子さん。兵庫県の、反合理化・生命を守る闘いの活動はかねてから注目の的になっていますが、同守る会はこのほど春闘のなかで、三池大爆発裁判支援活動、を繰り広げ、大きな成功をおさめ、誇りにかかっています。

## 兵庫で三池支援活動

署名・カンパを呼びかけ



送られてきた、おびたしい署名簿にこめられた三池への連帯。

加古川・高砂地区CO守る会(代表竹田美智子さん。兵庫県の、反合理化・生命を守る闘いの活動はかねてから注目の的になっていますが、同守る会はこのほど春闘のなかで、三池大爆発裁判支援活動、を繰り広げ、大きな成功をおさめ、誇りにかかっています。

加古川・高砂地区CO守る会(代表竹田美智子さん。兵庫県の、反合理化・生命を守る闘いの活動はかねてから注目の的になっていますが、同守る会はこのほど春闘のなかで、三池大爆発裁判支援活動、を繰り広げ、大きな成功をおさめ、誇りにかかっています。

加古川・高砂地区CO守る会(代表竹田美智子さん。兵庫県の、反合理化・生命を守る闘いの活動はかねてから注目の的になっていますが、同守る会はこのほど春闘のなかで、三池大爆発裁判支援活動、を繰り広げ、大きな成功をおさめ、誇りにかかっています。

### CO患者 小川 絃志

原告団の結成(昨年十一月三日)から早や六月、

四回にわたる裁判闘争や官廳重信さんの惨死。ひきつづいて浦添隆正さん、斎藤慶さんの死。

会社に対する激しい抗議。闘いの途中で倒れていった仲間

の板の前で、新たに燃える怒りで闘うことを誓い、とにかく無我無中で過ぎてきました。六月、半年間の闘いの経過をふまえて、去る四月二十八日、原告団の一層の団結、具体的な活動をめざす

### 竹田美智子さんのからの便り

皆様、お元気ですか。活動のことでは、会員全員のエネルギーを結集し、春闘のなかで、三池CO闘争裁判支援活動に独自に立ちあがったのでした。その結果、二百四十八人へのぼる人びとの支援署名と、同時に、多額のカンパを集めることができ、これを機会に同守る会

三月三十日、三十一日の両日、華